

教師の共感性および管理意識とスクール・モラルの関連の検討

○深沢和彦 (東京福祉大学)

河村茂雄 (早稲田大学)

キーワード：教師の管理ビリーフ，教師の共感性，スクール・モラル

問題と目的

Ellis(1975)は、人が感情を持った行動を起したりするときにもつ思考をビリーフ (belief) と呼んだ。つまり、表出される指導行動の背後には信念 (ビリーフ) や価値観等の指導意識がある。

安藤(2013)は、これまでの日本の学級経営は、個が集団に適応するために集団の規律を理解し守ることを目指す管理的な一面をもつと述べている。また、管理的なビリーフが強いとイラショナル(非合理的)となり、児童のスクール・モラルを低下させる要因になることが明らかにされている (河村・田上, 1998a, 1998b)。インクルーシブ教育の展開が求められる通常学級の学級経営においては、教師がもつ管理意識はその展開の妨げになると考えられる。一方、対人援助における臨床場面では、共感的理解の重要性は常に説かれる。それは教師においても同様であり、学習指導要領解説には「児童の内面に対する共感的理解」の重要性が示されている (文部科学省, 2017)。

そこで本研究では、教師の指導意識のうち「統制的・管理的」側面を「管理意識」として、また、「受容的・共感的」側面を「認知的共感性」として捉え、測定する。対立概念として捉えられがちな教師の管理意識と共感性が、児童のスクール・モラルとどのように関連するのかを検討することを目的とする。

方 法

調査対象者 2018年2月、関東圏の公立小学校の4～6年生児童2,436名を対象に、Q-Uを実施し、その中の学校生活意欲尺度の3因子(友達関係・学習意欲・学級雰囲気)の総得点によってスクール・モラルを測定した。また、担任教師111名には、IBT-T教師の管理意識尺度 (河村, 1999) と児童理解尺度 (深沢・河村, 2018) を実施し、それぞれ総得点をもって教師の管理意識と認知的共感性を測定した。分析にはHAD16.0を使用した。

結果と考察

教師の管理意識と認知的共感性と児童のスクール・モラルの関連を検討するために、児童のスクール・モラルについて、管理意識3群×認知的共感性3群の2要因の分散分析を行った。なお、H(高)群、M(中)群、L(低)群の3群は、平均値±1/2SDをカッティングポイントとした。

Table1 管理意識3群と共感性3群のスクール・モラル得点の比較 (2要因分散分析)

	管理意識			共感性			F値		
	H群 n=1035	M群 n=749	L群 n=652	H群 n=743	M群 n=859	L群 n=834	管理	共感	交互
スクール・モラル	31.59 (4.08)	31.69 (3.69)	31.48 (3.73)	32.54 (3.29)	31.35 (3.98)	31.01 (4.07)	1.95 n.s.	22.78 ***	10.44 ***

() 内は標準偏差, ***: $p < .001$

Table 2 管理意識3群と共感性3群の交互作用によるスクール・モラル得点の比較

	共感性H群	共感性M群	共感性L群	F値	単純主効果(5%)
管理H群	32.82(2.99)	31.32(4.04)	29.91(4.96)	46.47	共感:H>M>L
管理M群	31.76(3.86)	31.46(3.91)	31.92(3.35)	1.23	n.s.
管理L群	32.44(3.51)	31.22(3.99)	31.08(3.58)	7.86	共感:H>M・L
F値	5.38	0.24	17.74		
単純主効果	管理:H>M	n.s.	管理:M>L>H		

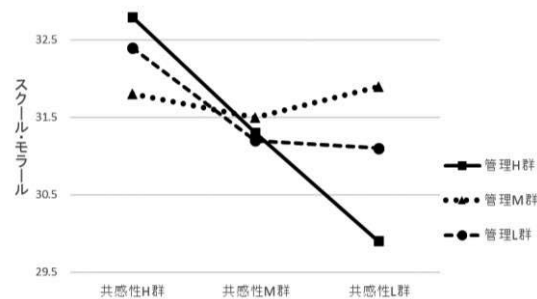


Figure1

分析の結果、管理意識の主効果は認められなかった。共感性の主効果が有意であったため (Table 1), Holm法による多重比較を行ったところ、H群がM群・L群より高かった。また、交互作用が有意であったため、単純主効果の検定を行ったところ、管理意識H群 ($F(2, 1032)=46.47, p<.001$), L群 ($F(2, 649)=7.86, p<.001$) であり、共感性H群 ($F(2, 731)=5.38, p<.01$), L群 ($F(2, 831)=17.74, p<.001$) であった (Table 2, Figure 1)。

管理意識が高い担任教師は、共感性が高い場合には、児童のスクール・モラルを高めるが、共感性が低い場合には、低める可能性が示唆された。つまり、管理意識の高さは、共感性が低い場合には、イラショナル・ビリーフ (非合理的な信念) となり、児童のスクール・モラルを低くするが、管理意識が高くても、同時に共感性を高くもつ場合には、熱意や積極性のようなラショナル・ビリーフ (合理的な信念) となって、児童のスクール・モラルを高めると考えられた。